

SHIRATAKA
PUBLIC
RELATIONS



しらたか 広報

29
FEB 2007
NO.962

白鷹町における小・中学校の配置計画が
まとまりました②
ワンデイ省エネチャレンジ結果報告④
各種審議会等委員を募集します⑥
新しい駅の名称（駅名）を募集します⑧
ストップ ザ 滞納⑨



雪中スペシャル — この日のために舞い降りたスペシャルな雪の中に、子どもたちの声がかどましました。
2月3日、スポーツ公園において、雪中スペシャルが行われました。恒例の雪中サッカー大会と新企画・スノーランタンコンテストの同日開催イベントで、より多くの皆さんに冬の一日を楽しんでもらいたいと白鷹町商工会青年部が主催したもので、ほとんど積もらずに心配された“主役”の雪も、2月に入ってこのようにどっさり。スタッフの皆さんは無事開催できたことを喜び、雪のグラウンドを駆ける子どもたちに目を細めていました。

未来の白鷹町を担う子どもたちのために

白鷹町における小・中学校の配置計画がまとまりました

急激な少子化の状況を踏まえ「次代を担う児童生徒のより良い教育環境並びに小・中学校の適正配置」について、検討いただいた白鷹町学校教育検討委員会から「まとめ」が提出されました。

教育委員会は、その「まとめ」を真摯に受けとめ、さらに「教育の質」や「教育環境」「教育効果」等々、多方面にわたり鋭意検討し、将来の学校の配置・適正規模を次のように決定しましたので、報告いたします。



◆学校配置に関する基本的考え方

白鷹町教育委員会は、「小・中学校の教育環境が学校教育法に定める教育の目的並びに目標を達成することが困難な状況」と認められるときは、町当局や児童生徒の保護者、地域住民の協力と理解を得ながら、速やかに是正措置を講じていきます。

「いろいろばた」から育む郷土愛と生きる力

学校教育法における義務教育の教育目標には、

- ① 学校内外の社会生活の経験に基づき、人間相互の関係において正しい理解と協同、自主自律の精神を養うこと。
- ② 郷土及び国家の現状と伝統について、正しい理解に導き、進んで国際協調の精神を養うこと。
- ③ 日常生活に必要な衣、食、住、産業等について、基礎

的な理解と技能を養うことが掲げられており、その達成に努めなければなりません。

また、町の教育目標である「郷土を愛し、志高く誇り薫る白鷹人の育成」に努めます。そのためにかかわり合いを重視する「いろいろばたの教育」を実践し、生きる力の創造を推進します。

教育の質と環境を確保した統合を進めます

少子高齢化、情報化、価値観の多様化など、目まぐるしく変化するのが今日の社会です。その中で、夢・希望の実現に向け意欲的に学習に取り組む、自主自律の精神・生命を尊び、郷土の自然や文化を大切にす心豊かな児童生徒の育成に努めます。

なお、学校の統合を進めていくにあたって、「教育の質」



とより良い教育環境の確保等を最大の目標に掲げます。学校は地域社会の文化的中心であり、精神的結合の基礎でもあることから、保護者をはじめ地域関係者の皆さんに必要な情報を提供しながら、十分に協議を重ねて理解が得られるよう配慮します。また、少子化における1学級の児童生徒数など流動的な側面については、適宜対応を図ります。

本計画は、今後のまちづくりにとって極めて重要な意味合いを持ち、特に第5次総合計画とも密接に関連することから、町当局と調整を図りながら進めていきます。

◇白鷹町における適正規模

(1) 人格形成及び学力の充実を基本とした白鷹町における「教育の質」の保障

① 豊かな人間教育が図られる教育

集団の中で個性を生かし豊かな心を育てる教育を充実させます。

② 学力の充実が図られる教育

個に応じた指導とともに、グループ学習や小集団学習、一斉学習等の学習形態を工夫するなかで、基礎的・基本的な内容の確実な定着とともに、自ら学び自ら考える力の育成を図ります。

(2) 教育環境の整備

① 子どもも教師も切磋琢磨し、

◇白鷹町立小・中学校の配置計画

(1) 児童生徒数と学校数

現在、本町全体の各学年の児童生徒数は120人から180人ほどですが、将来の社会情勢等の変化による出生数を期待しても90人台まで減少する状況にあります。現時点では、平成25年度の小学校1年生（平成18年度の出生数）は、町内全体で90人（※）です。

序列化・固定化しないより良い人間関係を構築します。

② 各教科の中でさまざまな考えや意見を練り合わせができる授業や体育・音楽等の集団及びチームでの授業を進めます。

③ 地域社会に根付いた学校が持つ地域的意義等を十分に考慮し、地域の理解と協力を得ながら整備します。

④ スクールバス等の整備による登下校の安心安全確保や、耐震調査をもとにした安全な校舎での学習・生活等を推進します。

⑤ 教職員の適正配置と教育的財源の確保を行います。

中学校の教育目標を達成するため、

小学校は「1学年2学級以上」、中学校は「1学年3学級以上」

を目標とするとともに、予想される児童生徒数を鑑み、

白鷹町における学校数を「小学校2、中学校1」とします。

① 小学校においては、現在の「さんさんプラン」による学級編成とし、発達の段階（低年齢、体力面、通学距離等）や学校の持つ地域的意義を考慮し、川西地区に1校、川東地区に1校を配置します。

② 中学校においては、教科担任制での教職員の適正な配置を図るためにも、中学校は1学年3学級以上を目標とします。

なお、課外活動の部活動においては、生徒数が減りチームプレーができないなどの理由から、部活動数の削減も行われており、さらに、平成27年度の西中学校の1年生が44人（1学級22人の2学級）となることから、中学校の統合から進めることとします。

この状況を受けとめ、白鷹町における適正規模を踏まえ検討を行いました。長期にわたり安定的に小・

(単位：人)

児童生徒数の推移

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
H 19	151	122	147	153	149	170	177	160	166
H 20	160	151	122	147	153	149	170	177	160
H 21	101	160	151	122	147	153	149	170	177
H 22	125	101	160	151	122	147	153	149	170
H 23	106	125	101	160	151	122	147	153	149
H 24	92	106	125	101	160	151	122	147	153
H 25	90	92	106	125	101	160	151	122	147
H 26		90 34/56	92 43/49	106 39/67	125 48/77	101 44/57	160 60/100	151 56/95	122 49/73
H 27			90 34/56	92 43/49	106 39/67	125 48/77	101 44/57	160 60/100	151 56/95
H 28				90 34/56	92 43/49	106 39/67	125 48/77	101 44/57	160 60/100

○表中の90は、平成18年度出生予定数（平成18年10月19日現在）
○平成26年度の上段は町全体の合計、下段左は川西、下段右は川東

(2) 校舎

現段階においては、耐震調査を踏まえ、現有施設の活用などを検討します。

(3) 統合時期

町民の皆さまや地域の理解の整備を計画的に進めるため、準備期間を概ね10年と定め、統合年次は平成28年を目途とします。

■問い合わせ 教育委員会
学校教育係 ☎85-6144

児童生徒が学ぶ教育環境の整備は、急激な少子化を受けて喫緊の課題となっています。教育環境の整備を図り、かわり合いを通して「いろいろ」の教育を実践し、たくましく生きる有用な白鷹人の育成を目指してまいります。

学校は地域の文化的中心ともいえませんが、次代を担う子どもたちの「教育の質」と安心・安全な教育環境を確保し、教育目標の達成を第一義に掲げて決定に至りました。社会の中で生きていける知識、学力、そして社会力を身につけた子どもたちを育てることが、町学校教育のなよりの目標です。

今後、統合を進めるにあたって、統廃合にかかわる検討委員会(仮称)を設置し、町民各層の意見聴取を行ってまいります。そのほか、審議状況の報告、パブリックコメント等を行いながら進めていきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

10月1日実施

ワンデイ省エネチャレンジ結果報告

住みよい生活環境を

次世代に

平成18年12月の世界の月平均気温が史上最高を記録しました。地球温暖化の影響の現れといわれていますが、このまま温暖化が進めば、2100年までには気温が1・4度から5・8度上昇すると予測されています。そうなれば、近い将来、農林漁業は大きな打撃を受け、国内生産量の低下に加えて、海外からの食料輸入量の減少もあり、深刻な食糧難となってしまう可能性もあります。そのような状況を回避するためにも、一人ひとりができる限りの省エネとごみ減量に取り組み、住みよい生活環境を次世代に引き継いでいく責務を担っています。

一人ひとりの取り組みが求められる省エネ

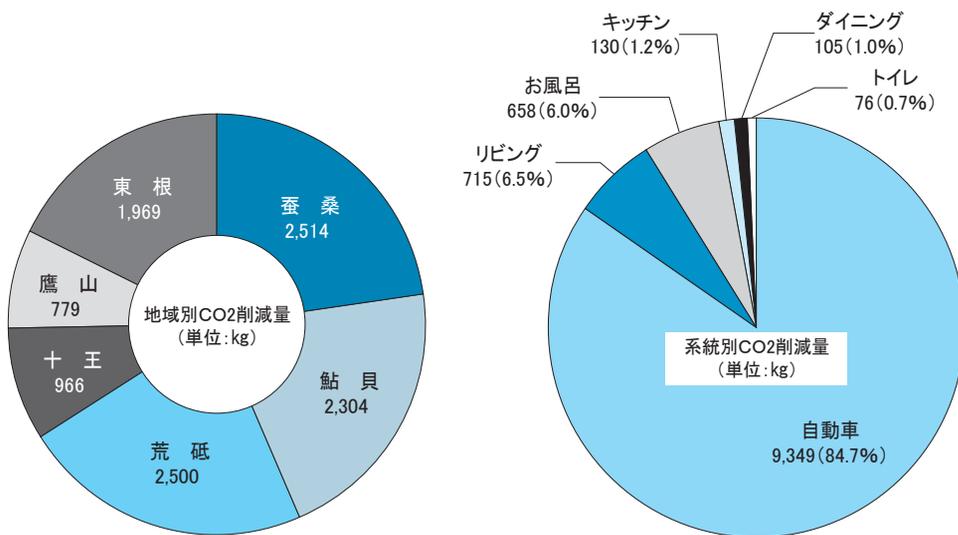
そこで、町が昨年度策定した「省エネルギービジョン」

では、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量を抑えるため、2002年を基準年とし、2013年度までに町内におけるエネルギー消費量を10%減らすという目標を掲げました。目標達成に向け、町民の皆さん一人ひとりに省エネに取り組んでいただくために実施しているのが「ワンデイ省エネチャレンジ」です。町では、毎年10月1日を省エネの日とし、どんな省エネ活動に取り組んでいただいたかをアンケート調査により把握することとしています（毎年町内長さんを通じて配布・回収していただいています）。アンケート項目の内容を実践していただくことにより、地球温暖化の防止に向けた省エネが推進されることとなります。今年度も多くの皆さんからご協力いただき、アンケート調査を実施しましたが、このたび結果がまとまりましたので報告します。

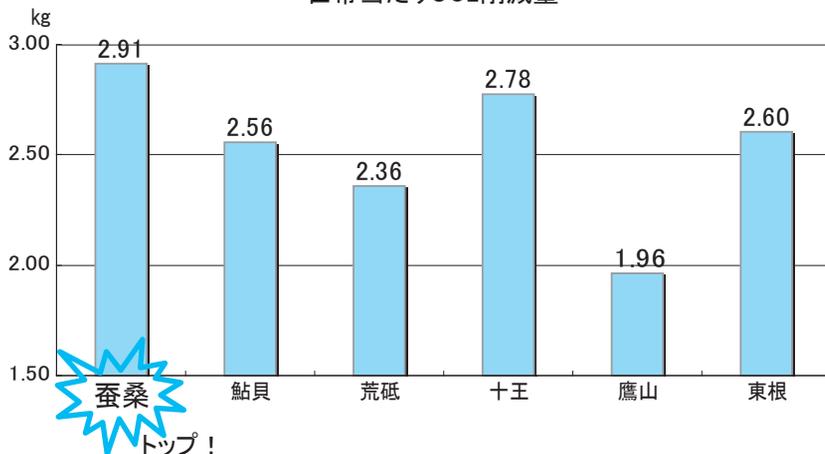
平成18年10月1日実施 ワンデイ省エネチャレンジで

削減された二酸化炭素の量 = 11トン

これは、灯油18リットルの缶を244缶燃やしたときに出る二酸化炭素の量に匹敵します。



一世帯当たりCO2削減量



温暖化が進む地球の未来に、

守るのは、わたしたち一人ひとりです
今ある美しいふるさとはありません

参加率 6割！！

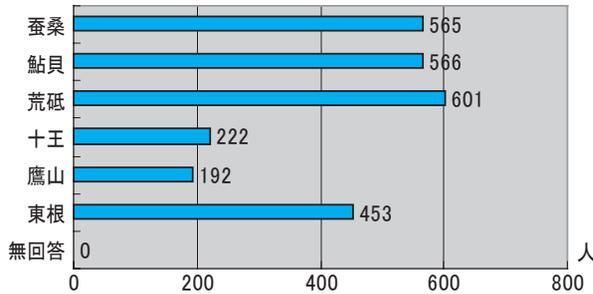
(去年は3割でした)

個別回答内容

1. 参加していただいた世帯数：2599世帯

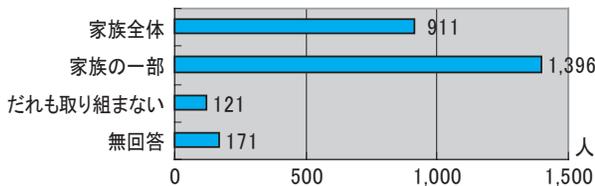
配布世帯数が4315世帯ですので、6割のかたに省エネチャレンジに参加いただいたこととなります。

地区別参加世帯数



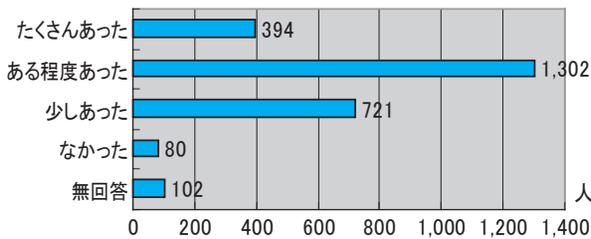
2. 取組状況

取り組み状況



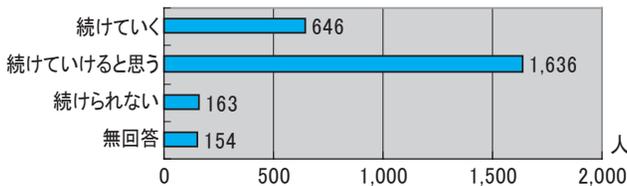
3. 参加前の省エネ意識

参加前の省エネ意識



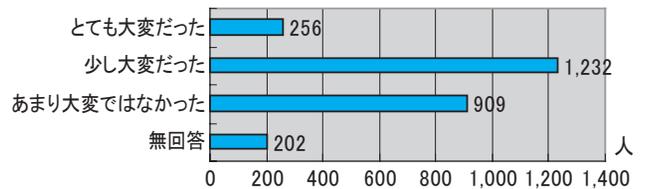
4. 今後の省エネの取り組み

今後の省エネの取り組み



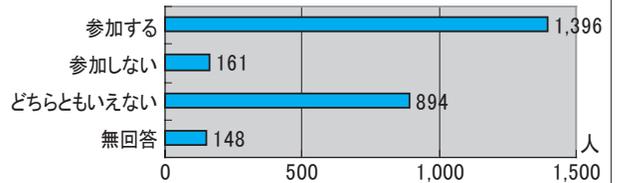
5. 省エネの実行

省エネの実行



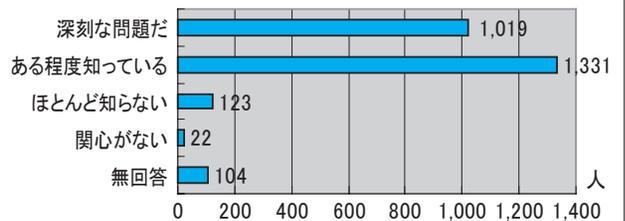
6. 今後の省エネチャレンジの参加意識

今後の省エネチャレンジ参加意識



7. 地球温暖化への関心

地球温暖化への関心



このたびの結果を見ると、蚕桑地区、十王地区のかたがたの取り組み状況が良かったようです。全体の参加率が約6割ですから、今後もっと多くの参加をいただければ、さらに大きな成果を望むことができるのではないのでしょうか。また、省エネ27項目の取り組み状況も平均して5割程度ですから、今後取り組む項目を増やしていくことで、まだまだ成果を上げることができるはずです。

地道な取り組みではありませんが、目標のエネルギー消費量を10%削減に向けて、皆さんのさらなるご協力をよろしくお願いします。

■ 問い合わせ 町民税務課
 くらし・環境推進係 (☎ 85-6131)

協働のまちづくり条例の規定による公募

各種審議会等委員を募集します

みなさんと一緒に、住みよい「しらたか」づくり

●募集する審議会等委員の職務と人数、応募資格など

白鷹町振興審議会委員

▼会の職務 町の振興計画の策定や変更などの審議、計画の実施に関して必要な調査などを行う機関です。

▼募集人員 5人

▼応募資格

- ・町内に住所を有し、応募時点で満25歳以上のかた
- ・年2〜4回程度の会議等に出席できること

▼所管部署 政策改革課 政策企画係 (☎85-6123)

白鷹町環境審議会委員

▼会の職務 町の良好な環境の保全と創造、環境基本計画の進め方、進行状況などについて審議する機関です。

▼募集人員 3人程度

▼応募資格

- ・町内に住所を有し、応募時点で満25歳以上のかた
- ・年2〜4回程度の会議等に出席できること

▼所管部署 町民税務課 国保医療係 (☎85-6130)

出席できること

▼所管部署 町民税務課 <らし・環境推進係 (☎85-6131)

白鷹町国民健康保険運営協議会委員

▼会の職務 町の国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議するため、①被保険者を代表する委員3人と、②保険医または保険薬剤師を代表する委員3人、③公益を代表する委員3人の計9人で組織される機関です。

▼募集人員 ①の委員3人

▼応募資格

- ・町内に住所を有する国民健康保険の被保険者で、応募時点で満25歳以上満73歳未満のかた
- ・年2〜4回程度の会議等に出席できること

▼所管部署 町民税務課 国保医療係 (☎85-6130)

白鷹町図書館協議会委員

▼会の職務 図書館を地域住民に密着した存在にするために、図書館の運営や活動に対して意見を述べる機関です。

▼募集人員 5人

▼応募資格

- ・町内に住所を有し、応募時点で満20歳以上のかた
- ・年2〜3回程度の会議等に出席できること

▼所管部署 教育委員会 文化振興係 (☎85-6146)

白鷹町都市計画審議会委員

▼会の職務 都市計画道路、都市公園、下水道などの都市計画に関する事項について、調査と審議を行う機関です。

▼募集人員 2人

▼応募資格

- ・町の都市計画区域内に住所を有し、応募時点で満25歳以上のかた
- ・年1〜2回程度の会議等に出席できること

▼所管部署 都市計画道路、都市公園、下水道などの都市計画に関する事項について、調査と審議を行う機関です。

「明るい健康都市づくり推進会議」の委員を募集します

委員を募集します

「明るい健康都市づくり推進会議」は地域実情に即した保健・医療・福祉事業を円滑に推進するため、各種事業計画の具現化を図るためのご意見をいただく機関です。

●募集人員 3人

●任期 平成19年4月1日〜平成21年3月31日

●応募資格

(1)町内に住所を有し、応募時点で満20歳以上のかた

(2)健康づくりに関心があり、年2〜4回程度の会議に出席できるかた

(3)次の基準を満たしているか

- ①白鷹町の議員及び職員でないこと
- ②納税(町税等)義務を満たしていること
- ③公民権を有していること
- ④破産宣告を受けていないこと
- ⑤被法定後見人、被法定保佐人、被法定補助人でないこと
- ⑥刑執行中の犯罪歴がないこと

●応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、健康福祉課に提出してください。

*詳しい応募要項及び応募用紙は健康福祉課に準備しています。また、応募用紙は町ホームページからもダウンロードできます。

●応募締切 3月5日(月) 当日消印有効

●選考 委員等選考審査会で審査のうえ、選考します。

●審査結果 応募者全員に通知します。

●申込・問い合わせ 健康福祉課 福祉係(☎86-0111)



▼所管部署 建設水道課 鮎貝まちづくり・都市計画推進係 (☎85-6142)

白鷹町下水道事業運営審議会委員

▼会の職務 下水道事業に係る受益者負担金と分担金、使用料などに関し、調査と審議を行う機関です。

▼募集人員 2人

▼応募資格
・町内に住所を有する下水道使用者で、応募時点で満25歳以上のかた

・年1〜2回程度の会議等に出席できること

▼所管部署 建設水道課 下水道係 (☎85-6138)

白鷹町水道事業経営審議会委員

▼会の職務 水道事業の経営その他必要な事項について、調査と審議を行う機関です。

▼募集人員 3人

▼応募資格

・町内に住所を有する水道使用者で、応募時点で満25歳以上のかた

・年1〜2回程度の会議等に出席できること

▼所管部署 建設水道課 水道係 (☎85-6137)

●応募資格(共通事項)

◆原則として、白鷹町の他の審議会等の委員でないこと

◆白鷹町の議員及び職員でないこと

◆次の基準を満たすかた

①納税(町税、各種負担金、使用料等を含む)義務を満たしていること

②公民権を有していること

③破産宣告を受けていないこと

④被法定後見人、被法定保佐人、被法定補助人でないこと

⑤刑執行中の犯罪歴がないこと

●任期

平成19年4月1日〜平成21年3月31日(白鷹町国民健康保険運営協議会委員は、平成19年5月1日〜平成21年4月30日)

●応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、所管部署に提出してください。

*詳しい応募要項及び応募用紙は各所管部署に準備しています。また、応募用紙は町ホームページからもダウンロードできます。

●応募締め切り

3月5日(月)当日消印有効

●選考方法

審議会等委員選考審査会で審査のうえ選考します。

●審査結果

応募者全員に通知します。

●その他

(1)身分 非常勤特別職

(2)委員報酬

・白鷹町振興審議会委員
・白鷹町環境審議会委員

・白鷹町国民健康保険運営協議会委員

・白鷹町都市計画審議会委員

・白鷹町下水道事業運営審議会委員

・白鷹町水道事業経営審議会委員

↓いずれも、3000円/日(ただし、会議時間が4時間を越えた場合は6000円/日)

・白鷹町図書館協議会委員

↓8500円/年

(3)各審議会等の委員は、町の非常勤特別職に任命されますので、白鷹町個人情報保護条例第3条第2項の適用を受けるとともに、同条例の規定に違反した場合(職務上知り得た個人の秘密を漏らした場合等)は罰則の対象となります

平成19年度に「農業振興地域整備計画」の見直しを行います

見直しを行います

●「農業振興地域内の農用地区域」に指定されている農地を住宅地や工場用地などに転用するには許可が必要です。

この場合「農業振興地域除外」の手続きをしなければなりません。また、建物建築や農地以外の利用などで転用予定の土地が、農用地区域内にあるかどうかの確認が必要となります。

確認の際は、行政書士、産業界振興課へご相談ください。

●農業振興地域整備計画見直し期間中は、新たな農振除外の受付は行いませんので、平成19年春は受け付けません。

個別の農業振興地域除外申請については、19年10月以降に受付する予定です。

そのため、今後5年間で予定されている整備計画があれば、農振除外等事前申出書を作成のうえ、下記のとおり産業界振興課にご提出ください。なお、申出書の内容が除外要件を満たしても除外できないこともありますのでご留意ください。

農振見直しにかかわる除外申し出期限等

▼期限 4月13日(金)午後5時

▼提出場所 産業界振興課 農業振興係

▼提出書類 農振除外等事前申出書

▼添付書類 位置図、公図、配置計画図、その他必要書類

☆農業振興地域から除外するための要件

①農用地区域外に代替すべき土地がないこと。

②農地上の効率的利用に支障を及ぼすおそれがないこと。

③農地の集団性が保たれること。

④ほかの土地利用との混在がないこと。

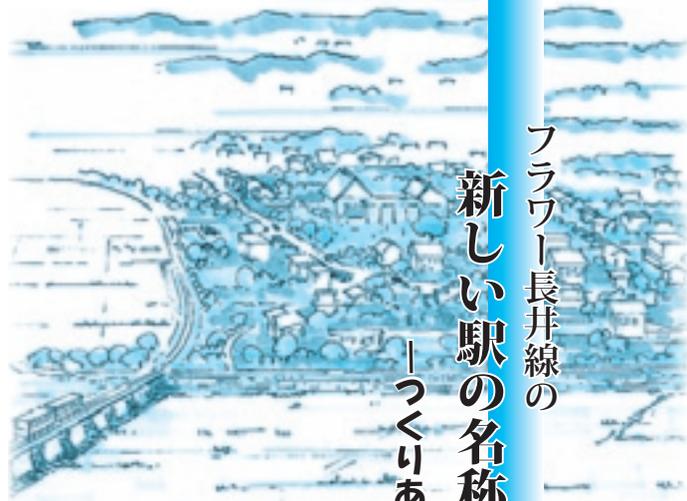
⑤土地基盤整備事業の終了から8年以上経過していること。

※なお、中山間地域等直接支払対象農地は制限がありますので、ご相談ください。

■問い合わせ 行政書士または産業界振興課農業振興係 (☎85-6127)

新しい駅の名称(駅名)を募集します

— つくりあげよう、わたしたちの駅 —



平成19年10月1日、白鷹町
 鮎貝の白鷹ニュータウン「四季の郷」に、フラワー長井線の新しい駅が誕生する予定です。その新しい駅の名称(駅名)を募集します。

未発表でオリジナルのものに限りません。

③ハガキ、ファックス、または電子メールに、住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、職業(学校名、学年)、電話番号、メールアドレス(電子メールでの応募の場合のみ)を明記してください。

*電子メールで応募する場合は、タイトルを“新駅名称応募”とし、本文に必要事項を記入してください。

●応募資格 どなたでも

●締め切り 2月28日(水)
 (期間内に必着のこと)

●審査 鮎貝新駅名称選定委員会において審査し、最優秀作品1点、優秀作品2点を決定します。

●賞 最優秀、優秀となった作品を応募されたかたに記念品を進呈します。なお、同じ名称の応募が複数あった場合は、抽選となります。

●発表 入賞については、入賞者ご本人に直接お知らせするとともに、町の広報紙などで発表します。

●その他

①最優秀に選定された作品を新駅の名称として採用します。ただし、選定された作品の一部を補正して採用する場合があります。

②採用された名称の著作権、そのほか一切の知的所有権は白鷹町に帰属します。

③応募いただいたハガキなどは、返却しません。

④応募いただいた個人情報、駅名決定までの審査、決定通知、発表のみに使用させていただきます。

■応募先・問い合わせ

白鷹町政策改革課
 「フラワー長井線新駅名称募集係」あて
 〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町荒砥甲833
 ☎0238-85-6123 FAX0238-85-2128
 E-mail:seisaku@so.town.shirataka.yamagata.jp
 (メールのタイトルは“新駅名称応募”としてください。)

白鷹町勤労者互助会をご存じですか？

町勤労者互助会は、町内で働く皆さんの福利厚生や生活安定を推進し、親睦と交流を図る会です。

▼加入資格 町内の労働組合のない事業所に勤務する従業員及び事業主のかた

▼返済 7年以内
 ▼保証料 年0・3% (県労信協の保証)
 ※町の保証料補給制度があります。また、町勤労者互助会会員については、町より年0・85%の利子補給があります。

▼入会金 一人200円
 ▼会費 一人月額300円
 ▼共済金給付事業 結婚祝金1万8000円、55歳祝金7000円など

●ふるさと奨学ローン
 県内への就職促進のための教育ローンです。卒業後、県内に就職・就業した場合は、元金200万円を限度に県勤労者育成教育基金協会から年1・0%の利子補給を受けることができます。

▼レクリエーション事業 ソフトボール大会やフラワーアレンジメント教室など
 ※入会、追加加入は随時受け付けます。

▼対象 高校、短大、大学、各種専門学校に入学または在学するかたの保護者(どちらかが会社等にお勤めのかた)

■申込・問い合わせ 産業振興課商工振興係(☎8516136)

▼融資額 1000万円以内
 ▼特別金利(固定金利・保証料込み) 5年以内2・6%、7年以内2・9%、10年以内3・2%

●生活応援ローン
 町と労働金庫が協力して低利で融資する制度です。自動車購入、教育資金、療養費等、生活資金全般に利用できます。

※今年4月27日まで受け付け、5月31日までに実行するもの
 ▼融資期間 10年以内(在学中は元金据置きができます)

▼対象者 会社等に1年以上勤め、労働組合がない、または職場に融資制度のないかた

■申込・問い合わせ 東北労働金庫長井支店(☎8411100)

▼融資額 150万円以内
 ▼金利 年2・0%(固定金利・保証料別)

ストップ ザ 滞納

—納め忘れはありませんか？—

地方交付税が年々減少するなかで、町民の皆さんに納めていただいている町税などは、町財政運営にとって、とても大切な自主財源です。

町民の皆さんからお納めいただいた町税などは、すべて町の生活環境の整備、産業の振興、福祉・教育の充実など、住みよく安心して生活していただくための行政サービスに使われます。

納税は、憲法にも定められているとおり、国民、そして町民としての義務です。定められた納期限までに納めないことを「滞納」といいますが、税負担の公平を保つためにも、滞納をそのまま放置することはできません。

滞納を防ぐために

町は、収納率向上対策委員会を開催し、収納率の向上策を検討するとともに、貴重な財源となる税収の確保と、町民一人ひとりの公平性を保つため、次のような収納対策に取り組んでいます。

<口座振替の推進>

納め忘れがないように、納期限ごとに口座から自動振替できる口座振替をお勧めしています。申込書は、役場町民税務課と町指定金融機関等窓口準備しています。

<督促と催告>

納期限を過ぎても納付がない場合、督促状を送付します。それでも納付されない場合、電話や文書、訪問等による催告を行います。

<滞納者への滞納処分>

電話や文書、訪問等の催告を行っても、納税に対する誠意が見られず、特別な理由もなく納付しない滞納者に対しては、厳しい滞納処分（差押など）を行います。

<早めの納付相談>

病気・失業・災害・事業での損失などの理由で生活が困窮し、納付が困難になった場合は、すぐに町民税務課収納係へご相談ください。納付の猶予や分割納付が認められる場合があります。

滞納をそのままにしておくと…



■問い合わせ 町民税務課 収納係 (☎85-6106)

第18回白鷹町スポーツ振興懇談会



1月20日、パレス松風で、スポーツ振興懇談会が開催されました。開会行事に先立ち、白鷹町体育協会表彰が行われ、小口修さんをはじめ、町のスポーツ振興・普及発展に功績のあった多数のかたが表彰されました。懇談会では、川西町マイミスポーツクラブの高橋由和さんより「今、なぜ総合型スポーツクラブなんですか？」と題した講演が行われ、クラブ設立を検討するうえで参考になるお話をいただきました。

白鷹町婦人会事業 金澤和子氏講演会(県男女共同参画センター館長)



1月21日、健康福祉センターで、「女性がきらめき元気な町をつくるために」と題した講演会が行われました。講師の金澤和子さんは、教師としての経験などをもとに、女性が自らの人生をデザインし、幸せを見つけていく大切さを講演。金澤さんは「身の回りを見直し、小さなことでも自分をほめましょう。今、生きることを大事にしましょう。」などと語りかけ、参加者は終始笑顔で聞き入り、楽しく学びました。

伝統の技を今へ、そして未来へ 深山和紙センターで「楮剥ぎ」



1月20日、深山和紙センターで「楮剥ぎ」が行われました。楮は深山和紙の原料となる木で、楮剥ぎ作業は和紙ができるまでの長い工程の中の一つです。12月に刈り取られた楮を大束にして、大釜で蒸し上げ、一本一本手作業で皮を剥いていくもの。伝統技法を忠実に受け継いでおり、大変な労力を要するもので、和紙センター運営委員会をはじめ地元深山地区の皆さんの協力を得ながら、今年も行われました。

白鷹学講座パート9(男女共同参画事業パート1) 板本洋子氏講演会(日本青年館結婚相談所所長)



1月23日、パワーセンターで、「いまどきの結婚事情 女と男と親と子と…」と題した講演会が開かれました。白鷹学講座の一環で、町結婚相談員会などが主催。講師の板本さんは、昔と今の結婚生活や結婚観の違いの話から「若い人は相手の立場で考えるイメージーションが必要。結婚とは、本人同士が一緒にいるために工夫し、折り合いをつけ、人生の答えを探していくことです。」と身ぶり手ぶりを交えて話されました。

法務大臣感謝状を受賞

重野ちえ子さん(荒砥乙)



新野美代子さん(鮎貝)



このたびは人権擁護委員を退任されたお二人は、平成6年11月から18年12月までの間、さまざまな活動を通して地域の人権啓発活動を実践されてきました。その功績により、法務大臣から感謝状が贈呈されました。

●1月1日付けで人権擁護委員に委嘱されました

安部くの子さん

大森 和子さん

白鷹町の元気・笑顔100歳

1月4日、5日、今年100歳(数え年)を迎えられるかたがたに、町から祝品の打出の小づちと祝金が贈られました。
明治41年生まれの人7人が100歳を迎えられます。ご長寿おめでとうございませす。これからもお元気でお過ごしください。



北村 愛いさん(荒砥)



安藤 志んさん(広野)



荒川 幸一さん(十王)



樋口 作次さん(深山)



新野 いちさん(横田尻)



那須 清吉さん(荒砥)



小関 とめさん(十王)

第56回「社会を明るくする運動」作文標語コンテスト

▼主催 「社会を明るくする運動」山形県実施委員会
多数の応募作品の中から、県表彰それぞれ5点に選ばれた作品です。

●作文(小学生の部) 優秀賞
テーマ「明るい社会へ」

大武 日文(荒砥小5年)
●標語(小学生の部) 優秀賞

「大丈夫 帰れる場所がここに在る」

横山 夏帆(鷹山小5年)
「あいさつできずなをむすぶ地いきの和」

川部 涼香(鷹山小4年)



これからもお元気で。

平成18年度白鷹町体育協会表彰受賞者

◎功労賞

小口 修さん

長年にわたり、白鷹町ソフトボール協会副会長をはじめ要職を歴任、べにばな国体、日本女子ソフトボールリーグの開催に際して多大なる尽力をされ、町ソフトボール競技の普及振興に貢献されました。
塚原 信一さん
16年にわたり、荒砥地区スポーツ振興会副会長をはじめ要職を歴任、荒砥地区のスポーツの普及振興に尽力されるところに、ソフトボール競技の指導者として、競技力向上、普及振興に貢献されました。

◎指導功績賞

安部 進さん

スキー競技指導者として、長年にわたりスキー技術の向上、スキー競技の普及発展に尽力されました。
後藤 栄俊さん
スキー競技指導者として、長年にわたりスキー技術の向上、スキー競技の普及発展に尽力されました。

◎殊勲賞

岩澤 優希さん(左沢高2年)

全国高校総体剣道女子団体第3位、国体剣道少年女子ベスト16

黒沢 千晴さん(山形城北高3年)

県高校総体チームライフル男子第1位、全国高校総体出場

小川 桂子さん(九里学園高3年)

県高校総体兼国体予選女子3000リ競争第1位

高橋 美緒さん(荒砥小6年)

県小学生陸上女子ソフトボール投げ第1位、全国大会出場

◎栄光賞

石川 大輔さん(南陽高3年)

県高校総体陸上競技男子やり投げ第2位、全国高校総体出場

守谷 真希さん(南陽高3年)

県高校総体チームライフル男子第3位、全国高校総体出場

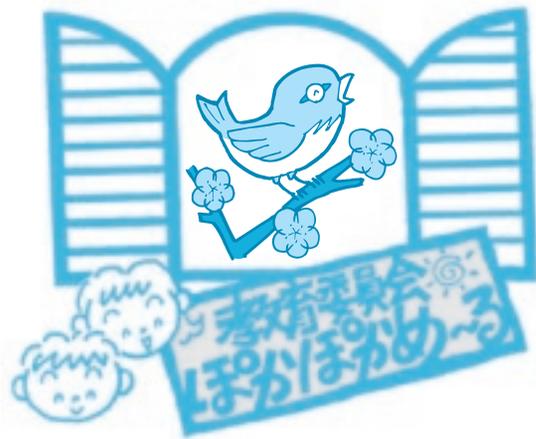
橋本 昭宏さん(南陽高3年)

田中 陽一さん(南陽高3年)

全国高校総体ソフトボール競技東北予選第3位、全国高校総体出場

江口 聡さん

東北教員ソフトボール選手権大会第2位、全国大会出場



**バラエティに富んだ
「荒砥高校開放講座」
今年度分が終了しました**

より地域に根ざした高校を
目指して始まった開放講座は、
18年度分の6講座が終了しま
した。各講座とも高校の先生
がたに、工夫したプログラム
を計画していただき参加者は
楽しく受講することができま
した。

第一回目は小学生の親子を
対象に「理科実験教室」菌は
友だち」と題し、荒砥高校
内にある菌を採取してもらい
どのような場所に菌が多いの
か、どんな菌がいるのかなど
わかりやすく学びました。



▲理科実験教室

2回目の「夫婦でスポーツ」
では、高校の女子生徒にもお
手伝いしていただき、40代か
ら60代の夫婦15組が軽体操か
らソフトバレーやバドミント
ンなどで心地よい汗をかき、
日ごろの運動不足解消や夫婦
間のコミュニケーションづく
りに生かされました。



▲夫婦でスポーツ

3回目は「パソコン教室」
で年賀状づくりを行いました。
自分でパソコンを使って年賀
状をつくるのが初めてのかた
がほとんどで、完成した作品
はそれぞれ個性的で満足のい
く作品に仕上がりました。

4回目の「タガログ語講座」
では英語指導助手のルビー先
生からフィリピン人の歴史や文
化を紹介していただきながら、
タガログ語であいさつや自己
紹介に挑戦しました。
5回目の「気軽にフレンチ」
には30人の参加があり、シャ
リピアンステーキ温サラダ添
え、カルパッチョ、アップル
パイの本格的なフランス料理
3品をつくり、おいしくいた
できました。



▲気軽にフレンチ

最後は、小学生対象の「ク
ロスカントリースキー教室」
で、校長先生自ら得意のクロ
カンスキーの魅力とテクニッ
クを伝授していただきました。
参加した子どもたちは、町ス
キー大会で好成绩を残して
くれるのではないでしょう
か。
19年度もさまざまな講座を
予定していただいていますの
で、興味がある講座の時はぜ
ひご参加ください。



介護ワンポイントアドバイス
地域包括支援センター TEL86-0112

認知症高齢者の気持ち

認知症高齢者は、

**①自分が認知症であるという
自覚がありません。**

自分で「ぼけた」と言う
ときでも、必ずしも自分の状態
を理解しているわけではあり
ません。半ば謙遜(けんそん)したり、周
りからいつも言われているこ
とが口癖のようになり、言っ
ていることが多いものです。
そのため、自分の行動にプラ
イドを持っていきますので、自
分が失敗したことを見せまい
として、問題行動を起こして
しまうのです。

**②自分の衰えなどに対する不
安などで心理的に不安定で
もあります。**

自分の失敗を認めなかった
り、感情をコントロールする
機能が低下するために、少し
のことで怒ったり泣いたりす
ることもあります。

**③周囲との意思疎通ができな
いことをもどかしく思っ
ています。**

また、それだけ感情の面
では研ぎ澄まされていて、相手
の好意(こうい)の情に敏感に反応しま
す。そして、相手が自分のこ
とを良く思っていない、相手
が興奮しているということ
を感じ取って、余計に興奮す
るのです。

認知症高齢者も機嫌が
いいときは、落ち着いていま
す。認知症高齢者が落ち着か
なかつたり、問題行動を起
こしたりするのは、実は介
護者の不安や動揺、嫌悪を感
じているせいなのかもしれま
せん。認知症が進んでも、
認知症高齢者の心には、わ
たしたちにも十分理解したり
、共感したりできる部分は
残されているのです。

特に、ほかの高齢者と同
様、「ぼけたくない」という気
持ちは強いため「ぼけたから
○しなさい」ではなく「ぼけ
ないように薬を飲みましょ
う」「ぼけの予防のためお医
者さんに相談しましょう」と
言って説得する方が効果的
です。

みんなで元気に暮らしたい…

高齢者の
健康づくり

心にゆとりのある元気な暮らし

ふれあいのある暮らしのためには、地域の人や仲間が交流し楽しく暮らすことが大切です。それはたとえば、障害があっても、家に仲間を呼んで楽しく過ごしているなどの暮らしです。



今月の？数字

35.8%

55%

○35.8%＝H15年に行った元気ニコニコしらたか21アンケートで、『家族に思いやりの気持ちを表現する』と答えた人の割合です。

○55%＝H22年までの目標値です。まずは身近な家族から思いやりを伝えましょう。当たり前のように、なかなか難しいものです。思っているだけではダメ。ちゃんと表現することが大切です。



健康まつり「福祉施設売店」



バリアフリー

高齢者のかた・障害者のかた・子どもたちと楽しく交流する心のバリアフリー活動に、ボランティアとして参加し、元気に暮らしている人たちがいます。

●障害者施設でボランティアをしています。利用者と一緒に作業をしたり、無心に作品づくりしていると心がほっとします。

●地域のふれあいサロンで高齢者のかたと楽しくおしゃべりや会食などをしています。高齢者の生きた生活の知恵を聴くのが楽しみです。

●子どもの遊び場に参加しています。子どもの笑ったり、泣いたりする、にぎやかな声を聞いているだけで、気持ちが若返ります。

●健康づくりのボランティア活動に参加しています。自分や家族の健康のために健康学習で学んだことを実践しています。生活の質が良くなったような気がします。

世代間交流や障害者と健常者が自然に交流することが、心のバリアフリーには大切です。ボランティアとして参加している人たちが元気になっています。自分も楽しみ、人から感謝され、喜びが倍増します。

思いやりのある気持ちを表現できる、自分に合ったボランティアが必ずあるはずです。健康な暮らしのためにボランティア活動に参加しましょう。

ニコニコ掲示板

元気ニコニコ推進会議は、健康で豊かな暮らしのできる町を目指して活動しているボランティア団体です。現在は7グループで活動中です。主な活動として、健康づくりのための運動（ウォーキング等）、禁煙推進、食育推進、バリアフリーなどです。健康な暮らしのために参加しませんか。

■問い合わせ
健康福祉課健康推進係
(☎86-0210)

“元気ニコニコしらたか21”を町民と行政が協働で推進しています！（元気ニコニコ推進会議）

●食の安全・安心リスクコミュニケーション ▼いつ 2月26日(月) 午後1時30分〜3時30分 ▼どこで 置賜総合支庁(米沢市) ▼テーマ おける食品の安全・安心の確保 *参加されるかたはご連絡ください。 ■問い合わせ 置賜保健所生活衛生課 (☎0238-2213740)

インフォメーション
INFORMATION
情報
あらかると
役場は ☎85-2111



白鷹学講座パート10
(男女共同参画事業パート2)
香山リカ講演会

精神科医師として、現代人の「心の病」について洞察を続けている香山氏に、自分が自分らしく生きていくことなどについてお話をいただきます。

▼いつ 3月17日(土) 午後2時〜3時45分(午後1時30分開場)

▼どこで パワーセンター

▼講師 香山リカさん

精神科医・帝塚山学院大学教授。東京医科大学卒業。



現在は数多くの執筆や講演活動を行い、テレビのコメンテーターとしても活躍。著書は「働く女性の胸のうち」10代のうちに考えておくこと」など多数。

▼テーマ「ひとりひとりが輝くために―精神科医からの提言―」

▼チケット 1000円

*教育委員会、中央公民館、各地区公民館で販売します。

▼定員 200人

▼問い合わせ 教育委員会 生涯学習・スポーツ推進係 (☎85-6147)

のどか村・冬の合同作品展

深山地域の腕自慢の作品がのどか村に集まります。ぜひお越しください。

▼いつ 2月17日(土)〜18日(日) 午前10時〜午後3時

▼どこで いきいき深山郷のどか村

▼展示内容

- ・水彩画/横澤憲一
- ・生け花/古流松應会(代表 早田理洋)
- ・パッチワーク/大滝とよ子とパッチワーク愛好会

白鷹の工芸展

*入場無料

*17日午後6時から雪見の宴を開催します(2000円)。

■問い合わせ いきいき深山郷のどか村(☎85-0380)

▼いつ 2月23日(金)〜25日(日) 午前10時〜午後5時

▼どこで あゆ茶屋

▼内容 白鷹紬、深山和紙、深山焼、獅子頭彫り、ちようちん、米粒工芸、ひょうたん彫刻などの新作展示・実演

■問い合わせ あゆ茶屋(☎85-5577)

白鷹農業フォーラム

白鷹地区の農業の再構築を図り、農業所得の向上を目指すための研修会です。

▼いつ 2月18日(日) 午後1時〜5時

▼どこで J A山形おきたま白鷹支店大ホール

▼内容

- ①基調講演「白鷹園芸の未来に期待する」
- ②研修会 事例発表、県の事業説明など

▼対象 どなたでも

■問い合わせ J A山形おきたま白鷹支店(☎85-5159)

「町報川柳」 北 安部 美笑 選

佳作	雪まつり北の街から便り来る	浅立	梅津たつえ
〃	北国の宿命今日も雪を掻く	山口	児玉 保子
〃	北風にじつと耐えてる子守り柿	荒砥甲	丸山 正志
〃	北風が吹くと貧しい村になる	高玉	高橋 朝子
〃	北前船で揺られて来ました古代雛	滝野	海老名達夫
〃	北国も住めば都の温い味	荒砥乙	大滝 栄子
〃	北に咲き北に散ってく寒つばき	畔藤	堀内 芳夫
〃	北帰行白鳥がまた来る平和	鮎貝	植木 英夫
〃	雪の家灯り点つてほつとする	山口	渡部喜美子
〃	北洋の幸で団欒冬の鍋	浅立	小形 義一
〃	北へ行く汽車に言伝て頼もうか	世田谷	遠藤 八重
〃	すぐそこにあつても遠い北の島	十王	守谷 三郎
秀逸	白鳥が北に帰る日春和む	高玉	片山 時美
〃	妥協せずはつきり北を指す磁石	鮎貝	横沢 直太
〃	北からの汽笛を乗せてくる吹雪	横須賀	大滝健次郎
〃	北で待つ母の灯りが温かい	十王	川部 隆雄
〃	北からの小包母の愛届く	荒砥甲	船山 英三
〃	孫たちの笑顔は北風にも負けぬ	荒砥乙	井沢美佐子
〃	大自然味方につけて北に住む	荒砥乙	高橋 白兔
〃	大自ののく民話ゆたかに情緒あり	横田尻	金田 れん
〃	義理人情風化させない北訛り	荒砥乙	熊坂 鷹史
〃	北に住む子から届いた鮭昆布	畔藤	梅津 いと
五客	北国の父母は五反の農で生き	小田原	井上 秀雄
〃	北国のついの住み家に老二人	浅立	高橋 とみ
〃	東京の隅で出合った北訛り	十王	志鎌はるえ
〃	虚飾などなく実直な北育ち	鮎貝	赤間 道雄
〃	北の母気になり今日も電話する	鮎貝	土屋 文香
人位	朝市の元氣飛び交う北訛り	高岡	長岡みち子
地位	北からの使者白鳥が舞う平和	荒砥甲	横山 陽子
天位	大志抱き北の大地に鍬を打ち	鮎貝	高橋 正
軸	頬かむり北の大地の貌で生き		
次回	「結ぶ」二月末日まで厳守 「芽」 三月末日迄		

※窓口となつて、楽しい町報川柳づくりに努めます。よろしく。

つぶやき つぶやき あらと保育園

●牛乳パック紙すき体験参加者募集
▼定員 20人 ▼締め切り 2月23日(金)



▼いつ 3月3日(土)午後9時30分～11時30分
▼どこで 千代田クリーンセンター施設第二係(☎023815714004)

▼講師 長井市消費生活者の会

沈む夕日

園児のAちゃんは、家族で新潟の海まで旅行しました。

夕方、海岸で海に沈みそうな夕日を見ました。大きな赤い太陽が、海に落ちていきそうです。

Aちゃんは「くもさーん、お日さまをつかまえて!」と思わず叫びました。

この気持ちは、俳句となりました。「くもさーん つかまえてあかいおひさま」

この作品は、NHK全国俳句大会ジュニアの部で入賞、月島戸奈菜選の秀作に選ばれました。

おきたま伝統野菜料理教室

山形おきたま伝統野菜に認定した食材の料理教室です。

▼いつ 2月26日(月)

午前10時～

▼どこで 米沢市愛宕コミュニティセンター

▼内容 「雪菜」ふすべ漬け、「小野川豆もやし」の冷やし汁、「うこぎ」ご飯等の伝統料理

実習及び雪菜掘り体験

▼募集人数 30人(先着順)

▼参加費 500円

■申込・問い合わせ 置賜総合支庁農業振興課(☎023812616051)

第3回自主防災組織リーダー研修会

自主防災組織の育成、新たな組織化などを旨とする研修会です。自主防災組織のリーダーや防災に興味があるかたなど、ぜひご参加ください。

▼いつ 2月25日(日)

午前9時30分～午後12時

▼どこで 西置賜防災センター

12階会議室

▼内容

①自主防災組織の現状と課題

②自主防災組織の活動報告

③長井盆地西縁断層帯

④住宅用火災警報器の設置義務
⑤AEDの使用法
■問い合わせ 西置賜防災センター(☎8811839)

募集

第27回白鷹町バスケットボール大会参加チーム募集

▼いつ 3月4日(日)午前8時30分開始

▼どこで 東中学校体育館

▼種目 一般男子・中学男子・中学女子

▼参加資格 白鷹町にお住まいのかた、または通勤通学している学生、社会人のかた

▼試合方法 原則として地区対抗トーナメント方式

*中学の部は、東中学校・西中学校の対抗とします。

▼申込方法 保険料一人250円を添えて、バスケットボール協会事務局まで申し込みください。

▼締め切り 2月26日(月)

*大会まで、練習日を設けています。毎週月・木曜日夜8時から東中学校体育館です。お気軽に参加ください。

おしらせ

2月18日の町営スキー場の営業について

白鷹町営スキー場は、第35回白鷹町民・白鷹町小中学校スキー大会が開催されるため、2月18日(日)は、午後2時ごろまで一般利用できません(大会終了後、一般利用できます)。

なお、スキー大会の進行状況によっては、一般利用の開始時間が前後する場合がありますので、ご了承ください。

■問い合わせ 教育委員会生涯学習・スポーツ推進係(☎8516147)

平成19年度学校体育施設利用団体調整会議のお知らせ

町ではスポーツの振興を図るため、町内小・中学校の体育館とグラウンドを、学校教育に支障のない範囲で町内の

団体に利用いただいています。平成19年度の利用について、利用する日や時間などを調整する会議を開催しますので、利用を希望する団体の代表のかたは、調整会議にご出席ください(※新規登録団体は、事前に教育委員会にご連絡ください)。

なお、体育館の使用料は1回の利用につき500円です(スポ少等以外の団体)。

▼いつ 3月2日(金)夜7時

▼どこで 中央公民館大会議室

▼持ち物 代表者の印鑑

■問い合わせ 教育委員会生涯学習・スポーツ推進係(☎8516147)

おわびと訂正

●おしらせ版1月22日号の3ページ「平成19年度白鷹町日々雇用職員(臨時・パート)の登録を受け付けます」で、「▼職種と賃金」表内「職種」の「一般事務 調理員 保育士・保育助手」は「一般事務 調理員 保育助手」の誤りでした。

おわびして訂正いたします。

千代田クリーンセンター

千代田クリーンセンター施設第二係(☎023815714004)

講師 長井市消費生活者の会

団体を利用いただいています。平成19年度の利用について、利用する日や時間などを調整する会議を開催しますので、利用を希望する団体の代表のかたは、調整会議にご出席ください(※新規登録団体は、事前に教育委員会にご連絡ください)。

なお、体育館の使用料は1回の利用につき500円です(スポ少等以外の団体)。

▼いつ 3月2日(金)夜7時

▼どこで 中央公民館大会議室

▼持ち物 代表者の印鑑

■問い合わせ 教育委員会生涯学習・スポーツ推進係(☎8516147)

戸籍の窓

●1月1日▶1月31日

ご結婚おめでとう

氏名	住所
繁子彦 弥香み美	王市 藤野立 東京都 和田
佳悦真 恵 弥香み美	十長 畔南 長浅 東京都 和田
山坂 形田 藤水 地	山坂 形田 藤水 地
高石 小吉 岡後 清菊	高石 小吉 岡後 清菊

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
荒砥乙	工藤 孝里	孝太郎
荒砥甲	塚田 傑	聖伽
畔 藤	沼沢 郎麻	響
荒砥乙	青木 拓満	麗美
山 口	槌谷 宣百	楓生
荒砥乙	鎌 須貝	弥
鮎 貝	中村 誠	雅
荒砥甲	高橋 基朋	百香

お く や み

住所	氏名	年齢
荒砥甲	新野 よそ	94
荒砥甲	熊谷 なつ	79
浅立	沼澤 ぎみ	93
萩野	佐藤 きみ	91
荒砥甲	横山 いせ	85
荒砥甲	田井 昭子	76
滝野	鈴木 よ子	81
十王	原田 進	53
横田	尻丸 川	90
深山	山今 恒	66
鮎 貝	守谷 五郎	79
荒砥甲	保科 孝夫	52
荒砥甲	大越 清藏	83
鮎 貝	野長 澤春	95
広 滝	野海 名	75
箕和田	小松 敏和	96
荒砥甲	小片 山部	51
荒砥甲	川部 誠米	80
畔 藤	小吉 形田	78
大 鮎	瀬 貝	97
	居 淑	75

平成19年、亥年に入って、はや1カ月が過ぎた。昨年12月から新年1月にかけて、今までにないような暖冬が続いている。朝、徒歩で役場まで通っているが、寒さは例年に比べて本当に感じない。真冬は12月から1月にかけて、まったくなかったという。通りからの視野の中にも、雪はほんの少ししか見当たらない。先日、近所の人から、屋敷内の土手の部分に「ふきのとう」が芽を出しており、それを小鉢に植えたとの話があった。早速見せてもらった。もうすっかりとしたふきのとうのつぼみである。

役場前の広場に、かなり大きな「こぶし」の木が根を張らせて、立っている。その木をよく見ると、枝には灰色つぼいふくらみが、無数に付いている。花芽のふくらみか、または葉に変わるふくらみかわからないので、

しらたか春夏秋冬 町長随想 64 『暖冬と「こぶし」』

春を告げる白い花で、葉に先立つて開花する。昔の人びとは桜の花と同じく、この花の開花時期から農作業のタイミングを判断したり、花の向きから豊作になるか否かを占ったりしたといわれる。つぼみを開く直前の形が子どもの「握り拳」に似ているところから、こぶしという名前になったらしい。こぶしを観察している町の人に聞くと、花のつぼみの大きさは、もう既に例年の3月下旬ほどのつぼみの大きさと同じくらいらしい。そして、この原因は12月から今日まで真冬日がないからだという。まだ小さく堅いつぼみだが、いつ開花するのか。本町の動脈国道287号の街路樹もこぶしである。約4メートル以上にはわたってこぶし並木が道の両側に連なり、行きかう人びとが車窓から、また歩道から楽しむことができる。街路

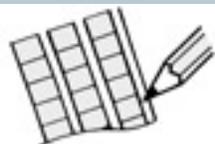
からだといい。まだ小さく堅いつぼみだが、いつ開花するのか。本町の動脈国道287号の街路樹もこぶしである。約4メートル以上にはわたってこぶし並木が道の両側に連なり、行きかう人びとが車窓から、また歩道から楽しむことができる。街路

橋本光記

▼2月初め朝、窓から外をのぞくと一面真っ白。ふわふわのペールが田畑、家々の屋根を包んでいた。1月の春のような気候はうそのように。でも、これが本当のしらたかの冬。今年の雪はなんだかわからない。▼この「寒くない冬」のため、野菜や果樹にも影響が出るのではないかとわれています。寒さ、冷たさがあるからこそ、自然は回り、植物も動物も迎える春を喜び、そして生きる力を付けていくのですね。

▼遅い本格的な冬の訪れで、交通事故が増える傾向にあります。この冬、まだ慣れない雪道。みなさん、車の運転、道路の横断などには十分注意しましょう。

(つめこ)



SELF JUDGE
編集後記

広報しらたかは再生紙を使用しています。